

■申し込み:工学院大学オープンカレッジ 03-3340-1457、10:00-18:00(日・月・祝祭日を除く)



工学院大学オープンカレッジ

日本の技術屋が、

ブータンで、「道づくり」を教えながら

「本当の幸福」を考えた。

「ブータンはなぜ、輝いているのか」

～GNH(国民総幸福量)から考える～



ティンブー近郊にある
デチョンブ寺院

日時：平成24年4月14日(土) 15:30-17:00(開場:15:00)

- 場 所 :工学院大学新宿キャンパス中層棟4階
- 受講料 :一般2,000円、学生500円(税込)
- 定 員 :40名

日本政府のODAで建設した大規模な鉄橋の一つである、「チラン」の鉄橋は、ここに架かっている。



日本政府支援の鉄骨橋梁

講義では「ブータンでの道路整備技術」を教えながら間近に見た、GNH(国民総幸福量)の実態を主体に、昨年の平成23年11月に来日されたブータン国王・王妃両陛下の歓迎レセプションの様相も手短かに、パワーポイントと豊富な写真で御紹介します。



国王・王妃両陛下
H.M the King Jigme and H.M.the Queen .

出典:日本ブータン友好協会「ブータン国王・王妃両陛下歓迎レセプション」写真報告書(撮影:白井 一)

講師:白 井 一 (特級技能士・国際開発教育ファシリテーター)

所属:NPO 法人国際建設機械専門家協議会(略称:国際協力フォーラム/SECONEQ)

工学院大学オープンカレッジ

「幸福大国ブータン紹介講座」のご案内

講座名(趣味と教養):「**ブータンはなぜ、輝いているのか**」
 ～GNH(国民総幸福量)から考える～

事務局から一言:
 ブータンとの付き合いが20年近くになる講師が、ブータンでの仕事や生活の中で、常々感じていた「王国ならではの優雅さ」と「穏やかな国民の生活態度」などについて紹介します。

■開催日・時間:

平成24年 4月14日(土) 15:30~17:00
 (開場 15:00)

◎会場:工学院大学オープンカレッジ(東京都新宿区西新宿1-24-2) 工学院大学新宿キャンパス 中層棟4階
 (会場の中層棟4階に行くには、工学院新宿キャンパスのエレベータの扉が「赤、又は緑色」のエレベータをご利用ください。新宿駅西口から地下道を利用してこられる方は新宿キャンパスに入られてから、床面の「黄色の矢印」に沿ってお進みください。)

■お問い合わせ・お申込み

工学院大学オープンカレッジ

〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2

エステック情報ビル地下1階

URL:<http://www.kogakuinuniv-ext.jp/>

E-mail:ext_center@sc.kogakuin.ac.jp

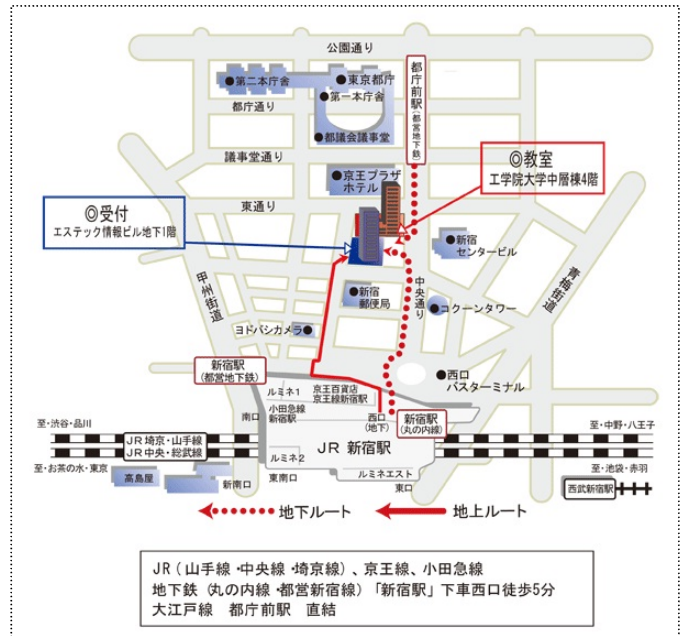
電話:03-3340-1457 Fax:03-3342-3150

(10:00-18:00/ 日・月・祝祭日は休館日)

「講座名」、「お名前」、「生年月日」、「性別」、「ご住所」、「お電話番号」をお知らせください。

電話、Fax、E-mail、HP のいずれからもお申込みいただけます。

◎受講料:2,000 円、学生:500 円(税込み)



JR(山手線・中央線・埼京線)、京王線、小田急線
 地下鉄(丸の内線・都営新宿線)「新宿駅」下車西口徒歩5分
 大江戸線 都庁前駅 直結

国賓として来日されたブータン国王・王妃両陛下が残された GNH(国民総幸福量)という一寸不思議な言葉の意味と、「物質的な豊かさよりも国民の総幸福感」の増大を目指すというブータンとは、いったいどのような国なのか。

■講座内容:(主催者の講座案内より)

インドと中国に挟まれたヒマラヤ山麓の小国ブータンの、ジグミ・ケサル・ワンチュク国王とジツェン・ペマ・ワンチュク王妃が、2011年11月15日に来日し、11月20日まで滞在しました。

この間、日本国中に爽やかなGNH(Gross National Happiness、国民総幸福量)旋風を巻き起こし、日本国民に愛と勇気と励ましを残して帰国されました。ブータンは「お金よりも幸福が大切」という究極の桃源郷といわれています。

そのGNHを国是とした国づくりに励むブータンで5年間、山岳道路整備事業に関わった講師が、ブータンの真の豊かさとして目指すGNHについて具体的にご紹介します。

●**開講の中止**:講座の受講生数が開講1週間前に一定数に達していない場合や、やむを得ない事情により講座の開講を中止することがあります。

●**個人情報の取扱**:講座申込時にいただいた「個人情報」は、学校法人工学院大学プライバシーポリシーに従って適切に管理し、個人情報の保護に努めます。

■講師紹介:白井 一(しらいはじめ)/特級技能士・国際開発教育ファシリテーター

日本ブータン友好協会幹事、ブータン国王・王妃歓迎レセプション公認記録カメラマン。

1944年生まれ。1969年工学院大学工学部機械工学科卒業後2年間、フランス・グルノーブルとディジョン大学に留学。帰国後、プラズマ溶射技術開発に従事するかわら、工学院大学機械工学専攻科を修了(プラズマ溶接の研究)。その後大手建設機械整備会社で、建機、溶接機の開発に携わる。この間、アフリカ、米国に駐在し、建機デラー、大手顧客への技術指導、技術移転に関わる一方、開発途上国への技術指導や、海外技術者研修協会(AOTS)、独立行政法人国際協力機構(JICA)の技術研修講師、政府開発援助(ODA)案件の技術調査を行い、130ヵ国以上で仕事をしてきた。ブータンでは、国土交通省の支援を受けて、「自分の歩く道を自分で作る」自立支援のための道路整備技術支援プロジェクトを実施。5年間にわたりプロジェクトマネージャーを務め、その成果を纏めた報告書を国土交通省に提示し、初期計画の通り完了した。

NPO 法人国際建設機械専門家協議会代表理事、株式会社テラグリーン代表取締役。

